

防衛講演会



講師 桜林 美佐 氏

日時 平成25年11月11日（日）

場所 富山市
（タワー111）

演題 「日本の国防は今」（要旨）

桜林講師は「日本の国防は今」という演題で講演した。最初のテーマは自衛隊の置かれている環境についてであった。

講師は、東日本大震災における自衛隊の活躍ぶりは、国民の自衛隊を見る目を大きな信頼や期待に変化させるほどであったが、その一方で、自衛隊を取り巻く環境は依然として厳しいという見方を示した。

それが表面にあらわれた例として、給料の引き下げや官舎の値上げがあるが、これなどは自衛隊の即応体制の維持等自衛隊の特殊性を考慮していないことによるものだと説明した。

また、防衛基盤の維持という観点から、防衛生産技術、特に研究開発、最先端技術、生産基盤の維持などは、既に企業努力の限界の域に到達しているので、国のバックアップが必要であるとの認識を紹介した。

次いで、これからの日本を取り巻く防衛環境を考慮すると、力を持った隙のない警戒・監視能力は必ず整備すべき分野であり、我慢比べのような要素があるこの種の努力は継続が重要であることを主張した。

最後に、防衛は自衛隊だけで成り立つものではなく、国民の理解と協力が不可欠であるので、「国を守ることは何か」等の原点に立ち返った国民教育も重要な課題であることを力説した。

全体としては、自衛隊の本来任務である「国土防衛」の重要性とともに、国家・国民もまた防衛の担い手であることを聴衆に訴える講演であり、盛会裏に終了した。